

能と狂言

鏡仙会

TESSENKAI

# 定期公演

翁 おきな

大槻

文藏

狂言  
昆布柿 こぶしがき

野村

萬

能  
絵馬 えま

浅見

慈一



2025年1月12日(日)  
午後1時30分開演(午後1時開場)  
会場 観世能楽堂

# 鏡仙会定期公演〈1月〉

2025年1月12日(日) 午後1時30分開演

## 翁

おきな

翁 大槻 文藏  
 三番叟 野村 万蔵  
 千歳 谷本 康介  
 面箱 河野 佑紀  
 笛 松田 弘之  
 小鼓頭取 鶴澤洋太郎  
 脇鼓 飯富 孔明  
 大鼓 清水 和音  
 大倉慶乃助  
 地頭 浅井 文義

厳肅且つ清浄な空気の中、颯爽とした千歳の露払いの舞、莊重な翁の舞、三番叟の力強い採之段、鈴之段が次々と舞われる。「能にして能にあらざ」と言われ、天下泰平・五穀豊饒を壽ぎ予祝する、能の古態を留める神事の芸能。

〈休憩20分〉

## 仕舞 屋島

観世鏡之丞

## 狂言 毘布柿

シテ 奏者 野村 萬

アド 丹波国の百姓 野村拳之介  
小アド 淡路国の百姓 野村眞之介

都へ出て年貢を納めた丹波と淡路の百姓は奏者(役人)に請われ、年貢の毘布と柿を巧みに詠み込んだめでたい歌を詠む。その見事さに奏者は二人の税金を免除してやり、酒を勧めて二人の名を問うと二人とも珍妙な名で…。三人がともに囃し立て踊る、祝言性溢れる狂言。

## 能 絵馬

えま

前シテ 天照大神 浅見 慈一  
 後シテ 姥 長山 桂三  
 前ツレ 天細女命 北浪 貴裕  
 後ツレ 手力雄命 馬野 正基  
 〃 勅使 則久 英志  
 ワキ 従者 大日方 寛  
 ワキツレ 〃 御厨 誠吾  
 〃 蓬菜ノ兔 野村万之丞  
 アイ 小鼓 古賀 裕己  
 大鼓 原岡 一之  
 太鼓 桜井 均  
 地頭 観世鏡之丞

伊勢斎宮を訪れた勅使の前に白絵馬を持つ老翁と黒絵馬を持つ姥が現れ、耕作のため日が照るよう白い絵馬を掛けるか、恵みの雨を降らせるため黒い絵馬を掛けるかで言い争う。結局二人は両方を掛けて五穀豊穡を祈念すると、自分たちは天照大神、月読命であると明かし、消え失せる。やがて天照大神が天細女命、手力雄命を引き連れ現れると、天の岩戸隠れの様をシヨ一的演出によって祝言性とともに華やかに描いた脇能。

〈午後5時25分頃終演予定〉

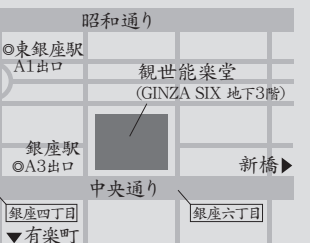
「翁」上演中は客席への入退場を制限させていただきます。  
 ◎より詳しい解説を鏡仙会ホームページにて順次公開しております。  
 ◎観能前には是非ご覧下さい。  
 ※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。  
 ※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。  
 ※客席内でのご飲食はご遠慮下さい。

### 会場

観世能楽堂(全席指定)

〔交通〕銀座駅(A3)徒歩2分  
 東銀座駅(A1)徒歩3分  
 有楽町駅(銀座出口)徒歩10分

〒104-0061  
 東京都中央区銀座6-10-1  
 GINZA SIX 地下3階  
 TEL 03-6274-6579



### 入場料

S 席 8,500円  
 A 席 7,500円  
 B 席 6,500円  
 C 席 6,000円  
 U 25歳以下 4,200円

賛助会員 年間指定席/年11回  
 S 会員 75,000円  
 A 会員 65,000円  
 B 会員 54,000円  
 C 会員 49,000円

回数券 定期公演・青山能共通/5枚綴り  
 一般回数券 222,000円  
 U 25歳以下 回数券 110,000円

※2025年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。  
 ※予約受付中、詳しくは鏡仙会までお問い合わせ下さい。  
 電話 03-3401-2285(平日10~17時)  
 ホームページ <http://www.tessen.org>  
 予約受付開始: 2024年10月15日(火) WEB 10時、電話 13時

### お問い合わせ・お申し込み・鏡仙会

お問い合わせ・お申し込み・鏡仙会  
 電話 03-3401-2285(平日10~17時)  
 ホームページ <http://www.tessen.org>  
 予約受付開始: 2024年10月15日(火) WEB 10時、電話 13時

### 鏡仙会定期公演〈2月〉予告

会場: 観世能楽堂

#### 2月14日(金) 午後6時開演

##### 俊寛

平家転覆を謀った俊寛、その罪を赦す書状に俊寛の名はない。深い孤独と絶望。山伏修行をした男が祖父の曲がった腰を、気の毒に思い、祈りて直してやろうと…。

柴田 稔  
三宅 右近

##### 腰祈

人に仇なし、遂にこの地で殺生石とした妖狐はそれまでの経緯を語り始める。

小早川 修

##### 殺生石

白頭

### 鏡仙会青山能〈3月〉予告

会場: 鏡仙会能楽研修所

#### 3月26日(水) 午後6時30分開演

##### 賞智

夫婦喧嘩をして実家に帰った妻を迎える男。そこへ夫が妻を連れ戻しに現れる。怨霊に取り殺された夕顔は光源氏との束の間の懐い恋を追懐し清楚に舞を舞う。

山本凜太郎  
長山 桂三

##### 夕顔

写真 表面 「翁」 観世鏡之丞 撮影・吉越研